


令和8年度 身寄りなし問題の実践研修会 開催要項

1. 目 的 団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年にかけて、独居高齢者をはじめ単身世帯が急増することが見込まれており、すでに全国で日常生活や入院入所の手続き、死後事務などを親族等に頼ることができない「身寄りなし問題」が顕在化しています。
本研修会は、福岡市社会福祉協議会の実践事例からの学びや演習を通じて、参加者がそれぞれの地域でこの問題へ取り組む際の糸口を考える機会とします。
2. 主 催 社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会
3. 開催方法 会場での対面講座+オンライン
4. 日 時 令和8年10月30日(金) 10:00~17:00 (受付開始 9:30 から)
※オンライン参加は 15:10(各論②終了)まで
※情報交換会 17:30~18:30 (会場参加のうち希望者のみ)
5. 会 場 五福の家 カフェスペース (福岡市南区若久 4 丁目2-3)
6. 定 員 ●会場参加:30 人 ※会場参加の定員は一団体につき3名までとします。
●オンライン参加:200 人
7. 対 象 者 「高齢者等終身サポート事業」などの身寄りのない方への支援に関心のある、社会福祉協議会・自治体の役職員、その他団体の職員等
8. 参 加 費 ●会場参加:6,000 円 (資料代含む)
●オンライン参加:3,000 円
※後日メールで送付する「決定通知」に記載の振込口座宛に期日までに事前納入ください(振込手数料はご負担ください)。
※昼食(1,000 円)及び情報交換会への参加(2,000 円)をご希望の方は、事前にお申込みの上、当日現金でお支払いください。
9. 申込方法 Google フォーム(<https://forms.gle/myn4nNzp6oSWHvo56>) 
【必要事項】①氏名(ふりがな) ②所属・役職 ③連絡先 ④参加理由
⑤参加方法 ⑥領収書の宛名
(会場参加希望者のみ)⑦弁当の有無 ⑧情報交換会参加の有無
※詳細は別紙「申込要領」参照
10. 受付期間 令和8年7月1日(水)~9月15日(火)
※申込先着順で受付。申込状況により、早期に受付を終了することがあります。
※多くの方が参加できるよう、一団体あたりの参加者数を調整することがあります。

11. プログラム内容

時間	カリキュラム
10:00～ 12:00	<p>【総論①】「身寄りなし」が問題になる背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化する社会情勢 ・身寄りがないことから生じる多様な生活課題 <p>○講師…OUKA 代表(元福岡市社協 事業開発課長)：栗田 将行</p> <p>【総論②】「制度の狭間」にある課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業(資源)開発 ・ファンドレイジングと「五福の家」 <p>○講師…OUKA 代表(元福岡市社協 事業開発課長)：栗田 将行</p> <p>【総論③】福岡市社協による地域支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を通じた「身寄りなし問題」へのアプローチ <p>○講師…地域福祉課長：石橋 武</p>
12:00～ 13:00	<p>【昼休憩】・お茶の無料提供あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁当は事前申込者のみ提供あり
13:00～ 14:00	<p>【各論①】 死後事務委任事業を中心とした権利擁護支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死後事務の実践(好事例、トラブル事例) ・死後事務委任に関連する法律や制度 <p>○講師…相談支援課長：吉田 時成</p>
14:10～ 15:10	<p>【各論②】「身寄りなし問題」の周辺領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親なき後」や「8050問題」との一体的解決 ・「居住支援」との親和性 ・「空家活用」による居場所づくり <p>○講師…OUKA 代表(元福岡市社協 事業開発課長)：栗田 将行</p>
15:20～ 17:00	<p>※会場参加者のみ</p> <p>【演習】我が町で「身寄りなし問題」を解決する方法を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先して取り組むべきこと ・取組みプランと活用できる社会資源 <p>○コーディネーター…終活サポートセンター所長：川崎 真帆</p> <p>○総括…OUKA 代表(元福岡市社協 事業開発課長)：栗田 将行</p>
17:30～ 18:30	<p>【情報交換会】 ※希望者のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催者や参加者同士による立食形式での情報交換 ・軽食、飲み物の提供あり

12. 講師紹介



栗田 将行
OUKA 代表
(元福岡市社協 事業開発課長)

飯塚市社協にて「権利擁護センター」の立上げ、運営に従事した後、平成23年に福岡市社協へ入職。「住まいサポートふくおか」「親なき後支援事業」「五福の家」等、様々な形態の事業開発を行う。厚労省「地域共生社会の在り方検討会議」、国交省「高齢者住まい・生活支援伴走支援事業」等への委員就任や「地域福祉学会」等での講演多数。令和8年4月より現職。社会福祉士・行政書士



石橋 武
地域福祉課長

平成18年入職。17年間にわたり区社協にて地域福祉ソーシャルワーカーや生活支援コーディネーター、区社協事務所長として地域支援業務に従事。本部に異動後、生活福祉資金、日常生活自立支援事業、終活、成年後見制度等幅広く個別支援業務に関わり、令和8年4月より現職。福岡市「地域包括ケアシステム推進会議 認知症支援部会」等への委員就任。社会福祉士



吉田 時成
相談支援課長

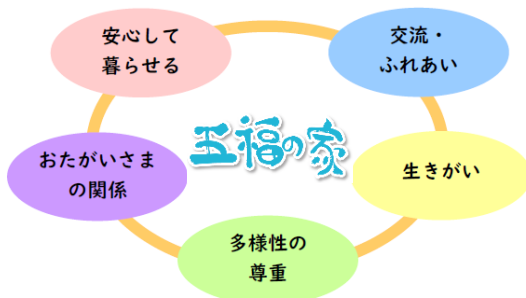
平成28年入職。事業開発担当として「死後事務委任事業」、「社会貢献型空家バンク」等の立ち上げや運営に従事。
令和8年4月より現職。終活を切り口とした身寄りのない方への支援が注目を集め、NHK「日曜討論」等へのメディア出演や、厚労省・自治体・社協等が開催する研修や福祉大会での講演など多数。社会福祉士・精神保健福祉士

13. 会場「^{ごふく}五福の家」とは

以前は醤油問屋「五福」が営まれてきた土地と建物を福岡市社会福祉協議会が譲り受け、地域のために活用してほしいとの想いを受け継ぎ、地域共生型の福祉拠点として令和7年4月19日にオープン。

コンセプト

5つのテーマを掲げた複合型多機能拠点



・住民一人ひとりの暮らしと生きがいを地域とともに創っていく、“地域共生社会”を目指します。

・5つのテーマを踏まえ、高齢者の孤独・孤立問題、身寄り問題、子ども・若者問題などの解決を図るため、関係する複数の事業所や団体が活用し多様な事業を行う、複合型の多機能拠点を運営します。

「五福の家」事業内容

- みんなの集いの場
地域カフェ、講座・教室、レンタルスペース等
- 福祉関係団体などの事務所
介護などの福祉関係団体等の事務所として貸出し
- 自立援助ホーム【TIES(タイズ)】
社会的な養護を必要とする若者の生活の場
- 地域の防災倉庫
地域防災の備えとして消耗品などを保管・備蓄
- みんなの畑
地域の方々が野菜等を育て、収穫する体験の場



14. アクセスマップ



公共交通機関のご案内

●博多駅からお越しの方

①バス「博多駅前 C」乗車(66 那珂川営業所) → 「宮の下」降車 → 徒歩約1分 → 五福の家

②地下鉄七隈線「博多」乗車(橋本方面) → 「天神南」降車 → バス「天神南」乗車(61 那珂川営業所) → 「宮の下」降車 → 徒歩約1分 → 五福の家

●福岡空港からお越しの方

地下鉄空港線「福岡空港」乗車(姪浜方面) → 「天神」降車 → バス「天神ビジネスセンター前」乗車(61 那珂川営業所) → 「宮の下」降車 → 徒歩約1分 → 五福の家

※近隣には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

15. お問い合わせ先

社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会 相談支援課 終活サポートセンター(木崎・川崎)
〒810-0062 福岡市中央区荒戸3丁目3番39号
電話:092-406-0168 / fax:092-406-0169
Mail:miyorikenshu@fukuoka-shakyo.or.jp